



Policy 「ましる」の運営ポリシー

ましるでは、東川口を中心としたこの地域に根差し、地域の皆さまの生活に寄り添った訪問看護サービスを提供いたします。

ご利用者のひとりひとりが最期まで「私らしく」生きることができるよう、また、そのご家族や介護・介助をされる方までが安心して日々の生活を送ることができるよう、誠心誠意のサポートをすることが私たちの務めです。

そのためには、私たちが日々の訪問の中でご利用者の病状・心身の状態・生活環境を正しく把握し、私たちと共にご利用者のサポートをしていく、主治医・かかりつけの先生をはじめとした医療関係の皆さまや、ケアマネジャーをはじめとした介護関係の皆さまへの、確かな情報共有をさせていただくことが必要不可欠だと考えております。

連携先となる皆さまから、「ましるなら安心して任せられる」と信頼して頂ける訪問看護ステーションとなれるよう、迅速・丁寧なコミュニケーションを心がけてまいります。

管理者 角田 幸恵 (看護師)



Service サービス提供の特徴3つ

① 全領域の受け入れ

慢性期から終末期、小児(新生児)から老年、がん、難病、精神…等、あらゆる疾患・状態・領域のご利用者を受け入れます。

② 24時間365日体制

看護師による24時間のオンコール緊急対応体制に加えて、土日祝をはじめとした365日での定期訪問もお受けいたします。

③ 看護・リハビリによる生活支援

看護職とリハビリ職が一体となってご利用者の生活をサポートいたします。

基本情報

事業所名 ましる訪問看護ステーション 〈訪問看護指定番号 1160290791〉
所在地 埼玉県川口市戸塚 2-22-33 エスポワール 408 ※「東川口」駅 徒歩1分
運営時間 24時間 365日 ※定休日なし
専門職 看護師 7名、理学療法士 3名、作業療法士 2名



訪問エリア



川口市、さいたま市、越谷市、草加市、蕨市

新規のご相談につきまして、お電話・FAX・Mailにて承っております。お気軽にご連絡ください。

※新規のご相談はいつでもお受けしております。ただし、土日祝と営業時間外については対応が遅くなる可能性がある旨、ご了承ください。
※訪問スケジュールについてもまずはご相談ください。ご利用者希望に合わせた調整や、土日祝の定期訪問も含めた365日での対応をいたします。
※退院カンファレンスにつきましても積極的に参加いたしますので、入院中(退院前)につきましても是非お声がけください。
※グループホーム、デイサービス、放課後デイサービス(医療的ケア児・重症心身障害児の受け入れをされている場合)等と、弊社看護師による医療連携もお受けしております。



Mashiro Letter

Contents

- ・ましるイベントレポート!
地域包括支援センターでのイベント登壇
「フレイル予防」「人生会議(ACP)」
- ・ケース紹介
「間質性肺炎により在宅酸素を導入する中で、
生活の幅を広げていくリハビリのプロセス」



mashiro
イベント
レポート!

地域包括支援センターとの共同イベントを開催！ 「フレイル予防」「人生会議(ACP)」

イベント
1

みんなでフレイル予防！ 生き生きセカンドライフを目指して

協賛・協力 川口市戸塚地域包括支援センター 様

戸塚地域包括さんが毎月1回開催している、地域の方々向けのイベントに弊社PTの糸魚川が登壇いたしました。地域の方々健康について、介護について、今の悩みやこれからの人生についてなど、気軽に立ち寄って気楽にお話するための定期イベントとなり、毎回20~30名の方々が参加されるそうです。今回のテーマでは、「フレイルを予防するために必要な知識は何か?」「日常生活でどんな運動を心がけたらいいの?」ということ、みんなで考えて、体験する場となりました。



名前 糸魚川(イトイガワ) 資格 理学療法士

臨床経験

大学病院にて幅広い分野のリハビリを経験後、訪問看護・通所リハビリにて在宅に携わってきました。地域に暮らす方々が「明日、今日よりもちょこっと楽しく」なれるようリハビリを探していきたいと思います。



メンバーの声

普段なかなか接することのできない方々の前でお話させていただきましたが、地域にはこんなに元気で前向きな方が多くいらっしゃるということにとっても驚きました。中には 90歳を超えている方もいて、参加者の皆様と触れ合うことで僕自身も多くの学びや発見を得ることができました。貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

イベント
2

やってみよう！人生会議(ACP)

協賛・協力 川口市安行地域包括支援センター 様

ご自宅で高齢や障害のある家族を介護される方を対象として、介護のヒントを学んだり、介護の不安を解消したりすることを目的としたイベントに、弊社の管理者である看護師の角田が登壇いたしました。川口市が作成・配布をしているエンディングノート(※)を利用しつつ、人生会議(ACP | アドバンス・ケア・プランニング)の導入部分を一緒に作成いたしました。

※人生を振り返り、ご自身に関する情報や要望・希望をまとめるための冊子。初めはノートに書き込むことへ抵抗があったものの、包括のスタッフとファシリテートしながら記入を促していくと自然と会話が生まれ、ペンも進み、質問等も飛び交い、いい雰囲気で進行することができました。



名前 角田(カクタ) 資格 看護師

臨床経験

三次救急の病棟(外科、脳外、循環器、泌尿器、呼吸器内科、整形外科)で20年弱勤務をしました。主に、がんの診断から手術、化学療法や放射線などの治療、そして終末期看護や緩和ケアを経験しております。



メンバーの声

参加者全員が自分ごとに捉えて、頷いたりお隣さんと話し合いながらエンディングノートを記入することができました。中には、ご主人が意思表示できない状態の方もいらっしゃったり、帰る際には、「わかりやすくてよかった」や「書いておくことで話をしやすくなるね」等の声をかけていただく方もおりました。終末期ではなくとも、事前に家族と話し合ったり考えたりできることが大切なことなのだ、私自身も再認識する機会となりました。

事例紹介

間質性肺炎により在宅酸素を導入する中で、 生活の幅を広げていくリハビリのプロセス

Case study

Mさん(仮名) / 70歳
疾患名: 多発性筋炎性間質性肺炎 / 要介護認定: 要介護1



突然の発熱と咽頭痛、激しい咳嗽が起こり、呼吸苦もあったため救急搬送。多発筋炎・急性間質性肺炎の診断で重症症状あったため即入院、ステロイド投与し免疫抑制療法を医療機関にて実施。入院中酸素オキシマイザーを導入し酸素3.0ℓ投与し治療を続ける。状態が安定したため退院調整、在宅での呼吸器管理とADL向上のため訪問看護・リハビリが導入となる。退院直後は労作時の呼吸苦や筋力・体力低下により、入浴や家事に介助が必要であった。

アセスメント

- ① 感染予防: 肺炎でステロイド服用中のため、ウイルス感染対策を徹底した上での介入が必要である。
- ② 生活動作中での呼吸状態や酸素飽和度の変動: どのような動作でどれほど呼吸状態が変化し、どれくらいの時間で回復するのかの経過を追う必要がある。
- ③ 呼吸器やチューブの管理: 呼吸器の装着や管理を本人、家族が徹底できるかの確認と教育が必要と思われる。
- ④ 緊急時の予測・対応: 急変や災害時の呼吸器管理方法を検討しておく必要がある。
- ⑤ 転倒予防: 筋力低下あり、能力面や環境面でのリスクを把握し予防、対処していく必要がある。

提供したケア/リハビリ

- 訪問時の状態だけでなく日頃の動作、症状、数値を確認。
- 不安の傾聴と困りごとへの対処法を一緒に実践する形で指導。また次回訪問時に生活の中で遂行できたかの確認。
- ご家族含め呼吸器管理方法の指導と、緊急時の対応方法の教育
- 呼吸状態管理の上、身体機能、能力を底上げするための運動を指導 → 筋力トレーニングや歩行練習、自宅内で安全に行える体操の指導等
- ADL(入浴、移動、階段等)の練習と確認

アウトカム

介入後徐々に労作時の呼吸苦と酸素飽和度低下が改善、階段昇降以外の日常生活動作で息切れを起こすことが減る。近くのスーパーまで一人で買い物に行くことができた。呼吸器装着の上で一人での入浴が可能に。臥床傾向だったが、調理以外の食事の準備や洗濯、掃除、植木の水やりなど、しているADLが大幅に改善。気持ちも前向きになり、外出や趣味への時間をより増やしたいという意欲、目標ができてきている。

ご利用者の声

ご本人

「動作時や歩くとき、階段昇降等で、呼吸の仕方を教わったのが良かった。運動のアドバイスをもらえるので、週に一度のリハビリが楽しみ。声をかけてもらいながら練習して、次の目標ができるのが楽しみ。」



リハビリ管理者からのコメント

退院直後は少し歩けば息が切れて動けなくなるなど、ベッド上での時間が生活の中でほとんどでしたが、ご主人の協力もあり、趣味の植木や家事が一人できるようになるまで回復したのは僕も驚きました。あれがやりたい、こうなりたいと具体的に目標を持って、リハビリ以外の時間も自主トレや活動を続けてきたという努力の賜物だと感じ、僕らもたくさん勇気と元気をいただきました。



名前 糸魚川(イトイガワ)
資格 理学療法士

臨床経験

大学病院にて幅広い分野のリハビリを経験後、訪問看護・通所リハビリにて在宅に携わってきました。地域に暮らす方々が「明日、今日よりもちょこっと楽しく」なれるようリハビリを探していきたいと思います。